

事業番号	07 04 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	食品産業の活性化支援事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課
				実施期間	H20 ～	E-mail	shokuhin @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・新型コロナウイルスのパンデミックをきっかけとし、世界的に健康の維持・増進や免疫力向上に役立つ発酵食品等への注目が集まっている。
 ・人口減少や原材料・燃料の高騰等により食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、産学官連携によるフードテック技術を活用した新商品開発や食品事業者の品質向上に向けた取組が求められている。

2 事業目的

・食品製造業振興ビジョン2.0に基づき、長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①県産機能性食品等の研究・開発に携わる人材の育成支援

・機能性食品など食品業界のトレンドに対応できる研究開発人材を育成するため、産学官連携による研修等を実施

②食品の品質向上や社会課題解決のための新食品開発支援

・食品企業の技術者の製造技術向上に向け、発酵食品を中心とした食品の品評会を開催し、製造技術の向上を図る
 ・酒粕の有効活用等、食品残さの有効活用を図るため、フードテック技術研究会や県内食品企業が取組む新商品開発への支援を実施
 ・発酵食品産業関連団体や民間企業、県内の大学等との産学官連携により、付加価値の高い新商品開発を実施

③発酵食品や発酵・長寿県ブランド形成のための販路開拓支援

・発酵食品をはじめとする、加工食品の新商品開発を進め、専門家と連携した販路開拓支援を実施
 ・「発酵・長寿NAGANO」のブランド化及び価値向上のため、発酵食インタープリター育成や発酵・長寿ポータルサイトの多言語化等のコンテンツ整備を実施
 ・【新】産学官連携により、各機関が有するシーズやノウハウを活かした付加価値の高い新商品開発支援を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし - : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込			
①	食品に係る研究開発人材の育成数	人	23	10	↘	15	↗	20	食品産業振興ビジョン2.0において人材育成支援を掲げている。過去3年間の実績を基に、年間20名とし、5年後の累計人数100名を目指す。
②	フードテック技術研究会への参加者数	人	-	150	-	150	→	160	食品産業振興ビジョン2.0においてフードテックを活用した商品開発力の強化を掲げている。令和6年度の研修受講者見込数を基に、年間10名の参加拡大を目指す。
③	「発酵・長寿」ポータルサイトのアクセス件数	件	-	47,000	-	42,000	↘	50,000	食品産業振興ビジョン2.0において、「発酵・長寿」ポータルサイトを活用した国内外への発信を推進するとしている。令和5年度実績を基に、3,000件のアクセス数増加を目指す。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	☆加工食品の輸出額	億円	2020 (R2)	56.5	2021 (R3)	71.8	2022 (R4)	78.9	2027 (R9)	124
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターの支援による商品化件数(2023～27年度累計)	件	-	-	-	2023 (R5)	21	2027 (R9)	100	
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターによる支援件数(2023～27年度累計)	件	-	-	-	2023 (R5)	80	2027 (R9)	400	

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案	2月上旬公表予定		0			1.5
	要求	26,723		26,723	17,218		
R6年度	759,933	31,367	267,920	1,059,220	17,459		1.5
R5年度	0	999,489	79,624	1,079,113	15,091	306,096	1.5

事業番号	07 04 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	食品産業の活性化支援事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
1	「食」と「健康」ラボ機能形成事業費	14,456 千円	9,574 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 7,467 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フードスペシャリスト育成プログラム	委託	発酵・機能性食品等の開発・研究企画に携わる県内食品製造業の人材育成を業界団体と連携して実施 開催回数：10回		
2	研究会による新商品の研究開発プロジェクト	負担金	「食」と「健康」ラボ研究会による新商品開発プロジェクトの実施や食品開発に係る研究・講演会を開催 新商品開発企業件数：3件		
3	発酵食品活用促進支援事業	委託	新食品開発スペシャルアドバイザーを配置し、消費者ニーズに合った新たな食品開発を支援 相談支援件数：30件		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
2	食品産業技術高度化推進事業	2,010 千円	2,010 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,871 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	品評会等の開催	直接	本県を代表する食品（清酒・みそ・甘酒・そば・醤油）の製造技術力及び品質向上を図るため、関係団体と共催で品評会等を実施 品評会の開催件数：5回		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
3	グローバルな「NAGANOの食」価値向上推進事業	11,260 千円	12,467 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 11,485 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県産酒粕利用による代替肉開発支援	委託	県内の酒蔵で発生する酒粕の有効活用に向け、産官学連携によるフードテックを活用した代替肉開発の取組を支援。 酒粕を活用した新商品（試作品）の研究・開発：1件		
2	サステナブルな「信州フードテック」転換支援	委託	コーディネータを設置し、食品事業者における食品のアップサイクル等の新商品開発などへの転換を支援 フードテック食品の試作・研究開発：1件		
3	サーキュラフード（CF）ビジネスの促進事業補助金	補助金	県産農畜水産物の食品加工適応性について試作研究・評価等し、販路開拓に必要な経費を助成 事業実施予定数：3件		
4	グローバルな「NAGANOの食」ブランド化支援	委託	輸出相手国のニーズ・規制に適合した食品開発や県内産食材のPR・需要調査等を実施 需要調査実施件数：5件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
4	「発酵・長寿NAGANO」ブランド力強化事業		3,513 千円	7,316 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 4,400 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	NAGANOの発酵食魅力発信事業	委託	県産発酵・伝統食品の魅力を県外や海外へ発信するため、発酵・長寿ポータルサイトのさらなるリニューアルを行い、英語表記や民間企業が持つ発酵食品の優位性等を情報発信を行う。 情報発信回数：30回		
2	発酵食品事業者連携強化推進事業	委託	食品事業者による発酵食品をもとにした商品開発の取組みを支援するため、地域食材専門バイヤーによる研修会の開催や、地域食材展示会への出展求評を行う。 食品展示即売への出展回数：1回		
3	NAGANOの発酵食ツーリズム事業	委託	ブランド価値（発酵・長寿県や海外訴求力）の高い発酵食品の魅力等を広く発信する、発酵食インタープリター育成事業を異業種間連携により実施し、誘客数の増加と長寿県「NAGANOの食」の発展につなげる。 インタープリター育成講習会開催回数：4回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
5	発酵バレーNAGANO産学官ネットワーク活動支援事業		- 千円	- 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,500 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	発酵バレーNAGANO産学官ネットワーク活動支援事業	直接	【新】産学官連携により、県内発酵食品産業関連団体や民間企業、県内の大学、試験研究機関が有するシーズやノウハウを活かした付加価値の高い新商品開発を支援 産学官連携交流会の開催：3回		